

鴨庄 CS レター



発行：丹波市立鴨庄小学校 学校運営協議会

□1学期には、延べ20名以上の地域住民が教育活動の支援をしました。これからも、子どもたちが様々な経験・体験を重ねていく支援を続けます。



□夏休み中の鴨庄っ子応援事業

(1) ラジオ体操の見守り(各地区で)

(2) サマースクール鴨庄の実施

8月 3日(火) 竹工作 児童13名 支援者6名

8月10日(火) 額作り 児童 8名 支援者2名

3年生以上の希望者で実施しました。学校では経験しない、ノミや小刀、キリ、電動ドリルの使い方を教わり、竹トンボ・けん玉・水鉄砲を作りました。工具や竹の感触などを味わい、ものづくりの喜びを感じてくれたことと思います。額作りでは各自の好みに応じて紙粘土の色やビーズの飾りを選び、世界に一つだけの額を作りました。



支援者たちは、例えば、キリで穴を開けるためには、力を下に加えながら手のひらでキリを回し続けるというコツを子ども自身がつかむまで、何も言わず根気よく待つなど、子どもの主体性を大事にしてくれました。また、地域の大人と子どもが知り合う機会にもなりました。



(3) いこいのサロンと私の作品展に参加(延期)

地域の作品展に合わせて、児童全員の図工作品も展示する予定でした。また、オープニングには、5、6年生による『鴨庄っ子太鼓』の演奏も披露する予定でした。残念ながら新型コロナウイルスまん延防止措置が出されたため延期されました。

(4) 鴨庄小学校教職員研修のお手伝い

神池についての講師依頼を鴨庄小学校から受け、実際に現地を見学したり、自治会館では資料を交えたりしながら、当時の様子や人々の思い、吉見伝左衛門氏の考えていたことなどを伝えました。この学習が長く継承されることを期待します。



□統合準備委員より

第1回統合準備委員会が6月に開かれ、統合の形や時期について具体的な協議が始まりました。これまでの「市島地域のこれからの教育を考える会」でまとめられた意見等を踏まえたうえで、各小学校区の意見を、教育委員会・委員長・副委員長が、各小学校区を回り、委員から丁寧にヒアリングしたところです。

鴨庄小校区からは、地域代表1名・学校代表1名・小学校保護者代表2名・こども園代表の1名が、協議が終了するまでを任期とし、委員を務めます。